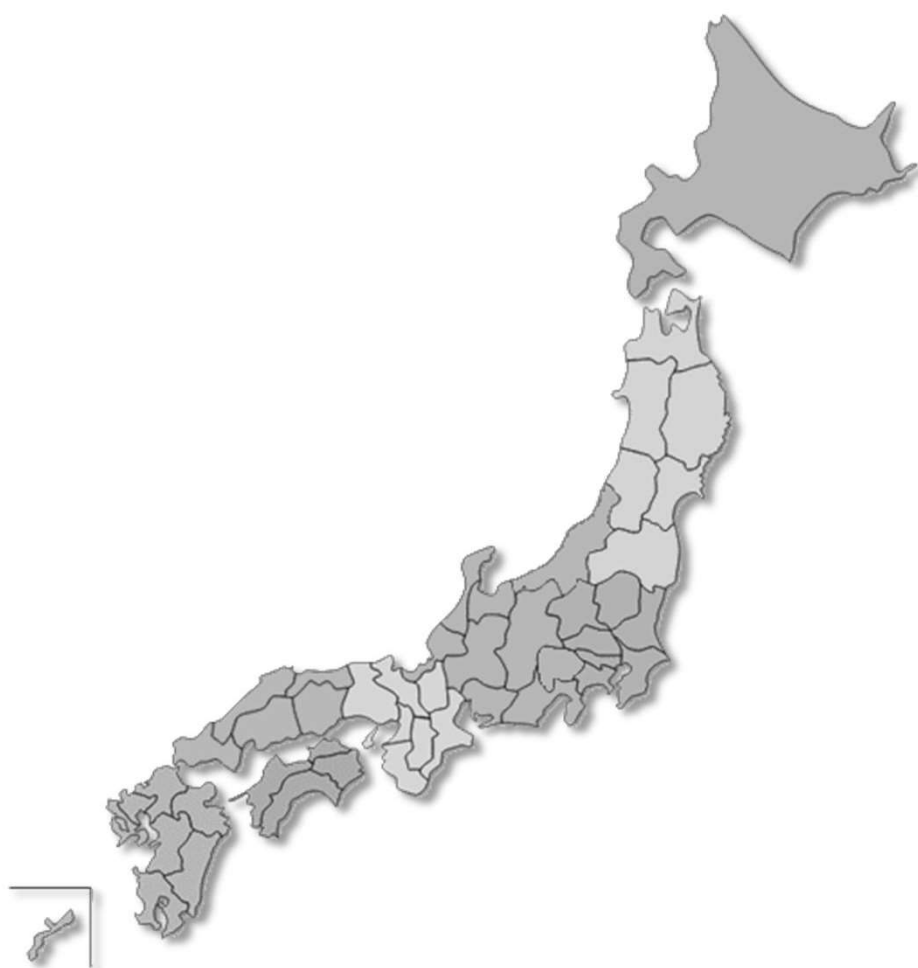


2020年度版

全国の山村留学実態調査報告書



NPO法人 全国山村留学協会

本調査でいう「山村留学」とは、山村留学だけでなく、その他の義務教育期間中の日本国内における留学制度全般を指します。これらの総称を、表記上、山村留学とします。
なお、同一行政区内での学区域外通学はこれに含みません。

【本調査の概要】

本調査は主に山村留学実施地域を対象としており、昭和51年度より継続して実施しているものです。尚、現在の対象となる地域は、平成12年度文部科学省委嘱事業「山村留学と国内ホームステイ等の実態についての調査研究」を元に、毎年更新して決定しています。
2020(令和元)年度のアンケート配布地域数及び有効回答数は以下の通りです。

小学校・・・配布数108校(有効回答数96校、無回答等12校)
中学校・・・配布数60校(有効回答数52校、無回答等8校)

※無回答等は本調査内容には含まれていません。

【都道府県の地方区分について】

本調査では、一般的な八地方区分を採用しています。

北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、京都府、大阪府、兵庫県
中国	岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県
四国	香川県、徳島県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【本文中の表記について】

本文中では、山村留学の居住形態別に以下の分類及び表記を行っています。

ホームステイ方式	年間を通して主にホームステイ宅で生活をするもの
寮方式	年間を通して主に寮で生活をするもの
併用方式	年間を通して、ホームステイ及び寮での生活を同数程度行うもの
家族方式	留学生本人だけでなく家族等と移住するもの

山村留学データバンク

2020年度の参加者は、ホームステイ方式が5人増、寮方式が30人増、家族方式が25人増となった一方で、併用方式は20人減となりました。なお、増加は中学生のみで小学生は7人減となっています。

寮方式では参加者にある程度の自立が求められるため、寮方式の増加は、そのまま中学生増に繋がっていると考えられます。また、今後は受け入れ地域の高齢化によって、ホームステイ方式は減少傾向になることも予想されます。

なお、全体の参加者数はここ数年微増傾向にありますが、留学生が集まる地域とそうでない地域に二分化される傾向があり、事業内容全般が問われる時代となっています。

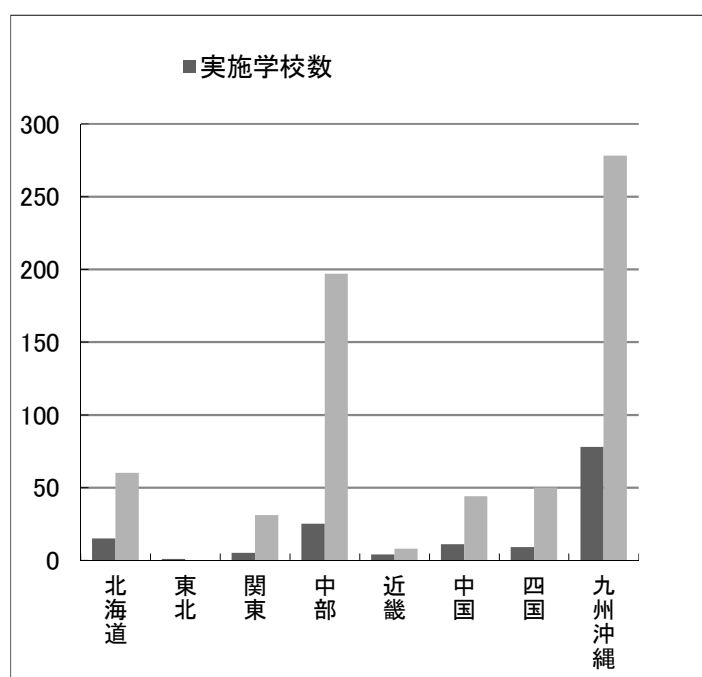
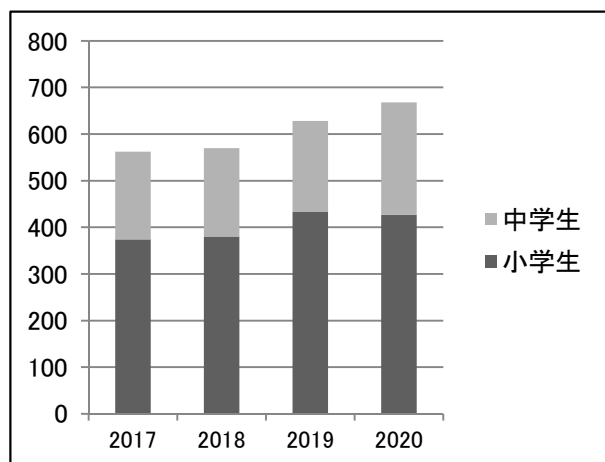
○実施都道府県	23道府県	(留学生受け入れ19、受け入れなし4)
○実施自治体	67市町村	(留学生受け入れ58、受け入れなし9)
○小学校	96校	(留学生受け入れ77、受け入れなし19)
○中学校	52校	(留学生受け入れ47、受け入れなし5)
○小学生参加者	427人	(新規参加者257人、継続参加者170人)
○中学生参加者	241人	(新規参加者110人、継続参加者131人)
○参加者累計(1976年度～2020年度延べ人数)	22,006 人	
○山村留学体験者数(新規参加者のみの累計)	12,990 人	

▽地域別の山村留学実施校と受け入れ人数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
受け入れた小学校	8	0	2	11	1	4	4	47	77
受け入れた中学校	5	0	1	10	1	4	3	23	47
受け入れなかった小学校	1	1	1	3	2	2	1	8	19
受け入れなかった中学校	1	0	1	1	0	1	1	0	5
実施学校数	15	1	5	25	4	11	9	78	148
参加した小学生	39	0	21	120	5	24	24	194	427
参加した中学生	21	0	10	77	3	20	26	84	241
参加した留学生数	60	0	31	197	8	44	50	278	668
受入校あたりの参加者数	4.6	0.0	10.3	9.4	4.0	5.5	7.1	4.0	5.4

▽小中学生別参加者数の推移(2017～2020)

	2017	2018	2019	2020
小学生	374	380	434	427
中学生	188	190	194	241
合計	562	570	628	668



全国の実施状況(自治体名、学校名、留学生数) NO.1

Aは親元を離れた山村留学生数(ホームステイ、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし

単位(人)

北海道		A	B
雄武町	共栄小		1
鹿追町	瓜幕小	4	4
	瓜幕中	5	1
新得町	富村牛小		4
	富村牛中		2
西興部村	上興部小		
東神楽町	志比内小		16
美深町	仁宇布小		6
	仁宇布中	6	
平取町	振内小		1
	振内中		1
芽室町	上美生小	2	
	上美生中	4	2
中頓別町	中頓別小		1
	中頓別中		
合計		21	39

宮城県		A	B
丸森町	筆甫小		
合計		0	0

群馬県		A	B
上野村	上野小	9	
	上野中		
高崎市	倉渚小	12	
	倉渚中	10	
合計		31	0

埼玉県		A	B
越生町	梅園小		
合計		0	0

新潟県		A	B
粟島浦村	粟島浦小	3	
	粟島浦中	17	
合計		20	0

山梨県		A	B
早川町	早川南小		
	早川北小		8
	早川中		7
丹波山村	丹波小		6
	丹波中		11
小菅村	小菅小		21
	小菅中		6
合計		0	59

長野県		A	B
阿智村	浪合小	15	
売木村	売木小	5	
	売木中	3	
大鹿村	大鹿小		
	大鹿中		1
大町市	八坂小	10	
	美麻小	5	
	八坂中	8	
	美麻中	9	
北相木村	北相木小	19	9
長野市	大岡小	9	
	大岡中	6	
泰阜村	泰阜小	10	
	泰阜中	9	
合計		108	10

岐阜県		A	B
七宗町	神渚小		
	神渚中		
合計		0	0

三重県		A	B
松阪市	香肌小		
合計		0	0

和歌山県		A	B
紀の川市	鞆渚小		
	鞆渚中	3	
合計		3	0

京都府		A	B
南丹市	美山小	5	
合計		5	0

島根県		A	B
大田市	北三瓶小	5	
	北三瓶中	8	
海士町	海士小		1
	福井小		2
	海士中		1
知夫村	知夫小		
	知夫中	8	
西ノ島町	西ノ島小		
	西ノ島中		
合計		21	4

山口県		A	B
岩国市	本郷小	16	
	本郷中	3	
合計		19	0

徳島県		A	B
那賀町	木頭小		
美波町	伊座利小		1
	由岐中伊座利分校		1
合計		0	2

愛媛県		A	B
砥部町	広田小	14	
合計		14	0

高知県		A	B
いの町	本川中	17	
馬路村	魚梁瀬小		4
	魚梁瀬中		
大川村	大川小	5	
	大川中	8	
合計		30	4

全国の実施状況(自治体名、学校名、留学生数) NO.2

Aは親元を離れた山村留学生数(ホームステイ、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし

単位(人)

福岡県		A	B
宗像市	地島小	5	
八女市	星野小	9	
合計		14	0

佐賀県		A	B
佐賀市	北山東部小	3	
合計		3	0

長崎県		A	B
五島市	久賀小	4	1
	久賀中	5	3
	奈留中	4	2
新上五島町	北魚目小	3	
小値賀町	小値賀小		
	小値賀中	1	
合計		17	6

大分県		A	B
国東市	竹田津小	1	
合計		1	0

宮崎県		A	B
西都市	銀上小	4	2
	銀鏡中	8	2
合計		12	4

鹿児島県		A	B
阿久根市	田代小	1	
	大川小		
天城町	西阿木名小三京分校		3
伊佐市	南永小		
霧島市	永水小		2
薩摩川内市	鹿島小	7	
瀬戸内町	与路小	3	
	与路中	1	
	薩川小		4
	西阿室小		5
	伊子茂小		4
	伊子茂中		8
	諸鈍小		3
	諸鈍中		2
	嘉鉄小		6
	篠川小		3
	篠川中		1
徳之島町	手々小	3	
	手々中	1	
十島村	平島小	3	
	平島中	4	
	悪石島小		
	悪石島中	1	
	小宝島小		
	小宝島中	3	
	宝島小	5	
	宝島中	1	
中種子町	岩岡小	6	
	星原小		2
西之表市	上西小	2	
	国上小		2
	伊関小		2
	安納小	2	
	安城小		2
	現和小	2	2
	古田小	2	
	住吉小		

鹿児島県		A	B
三島村	三島大里学園小	2	
	三島大里学園中	4	
	三島片泊学園中	2	
南種子町	荃南小	14	3
	西野小	4	1
	大川小	4	2
	島間小	4	1
	平山小	4	2
	花峰小	2	4
	長谷小	4	2
南種子中	2	3	
屋久島町	永田小		6
	金岳小	8	
	栗生小		2
	八幡小	1	
	一湊小		3
	金岳中	2	
与論町	与論中		1
始良市	漆小		
	名柄小		
宇検村	名柄中		2
	阿室小		5
	阿室中		2
合計		104	90

沖縄県		A	B
国頭村	安田小		5
渡嘉敷村	渡嘉敷小	1	
	渡嘉敷中	5	
南城市	久高中	9	
竹富町	鳩間小	2	
	鳩間中	5	
合計		22	5

居住形態別データ



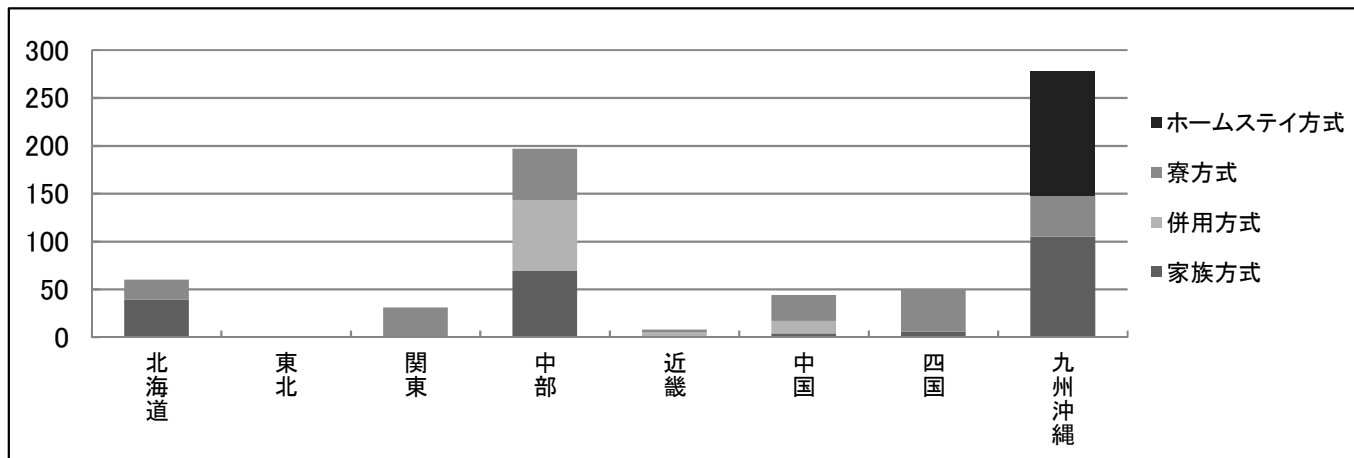
居住形態別の参加者数をみると、家族方式や寮方式の増加が目立ち、ホームステイ方式は微増、併用方式は減少となりました。

ホームステイ方式は、導入のしやすさなどの理由により当初は増加傾向でしたが、2010年頃を境に減少し、今では全盛期の半数程度になっています。これは、地域の高齢化によって受け入れ先が確保できないことが主な要因で、このことは寮方式や家族方式の増加にも繋がっています。

一方、併用方式は多少の増減はありますが、1990年代後半から常に100人前後の留学生を確保しており、安定した事業運営がなされています。こうしたことから、今後山村留学に取り組む自治体については、寮、併用、家族の3方式が多くなると予想されます。

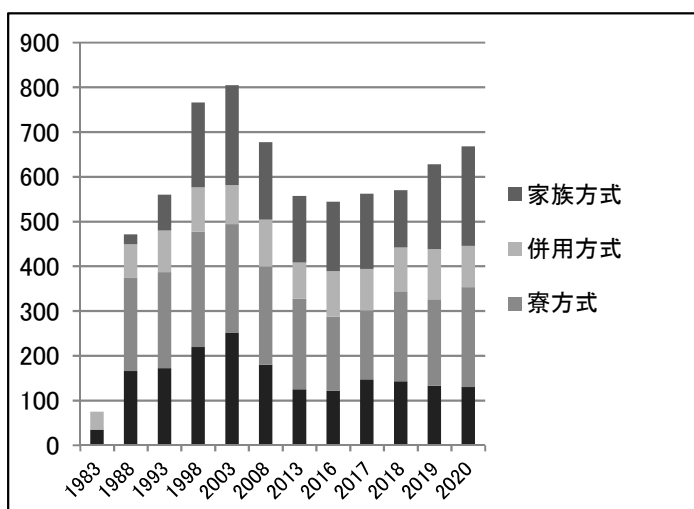
▽居住形態別の地域別参加者数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
ホームステイ方式	0	0	0	0	0	0	0	130	130
寮方式	21	0	31	54	3	27	44	43	223
併用方式	0	0	0	74	5	13	0	0	92
家族方式	39	0	0	69	0	4	6	105	223
合計	60	0	31	197	8	44	50	278	668



▽居住形態別参加者数の推移(1983~2020)

	ホームステイ方式	寮方式	併用方式	家族方式
1983	35	0	40	0
1988	166	208	75	22
1993	172	215	93	80
1998	219	258	99	190
2003	251	243	87	223
2008	180	219	105	173
2013	125	202	81	149
2016	121	166	102	155
2017	147	154	93	168
2018	143	201	98	128
2019	133	193	112	190
2020	130	223	92	223



ホームステイ方式は九州沖縄地区だけとなっており、併用方式は約80%が中部地区、家族方式は北海道地区、中部地区、九州沖縄地区で約95%を占めています。一方、寮方式は東北地区を除く全国に分散しています。なお、すべての方式を実施している地区はなく、東北地区は実施が1校あるものの、留学生なしとなりました。

学年別・男女別データ



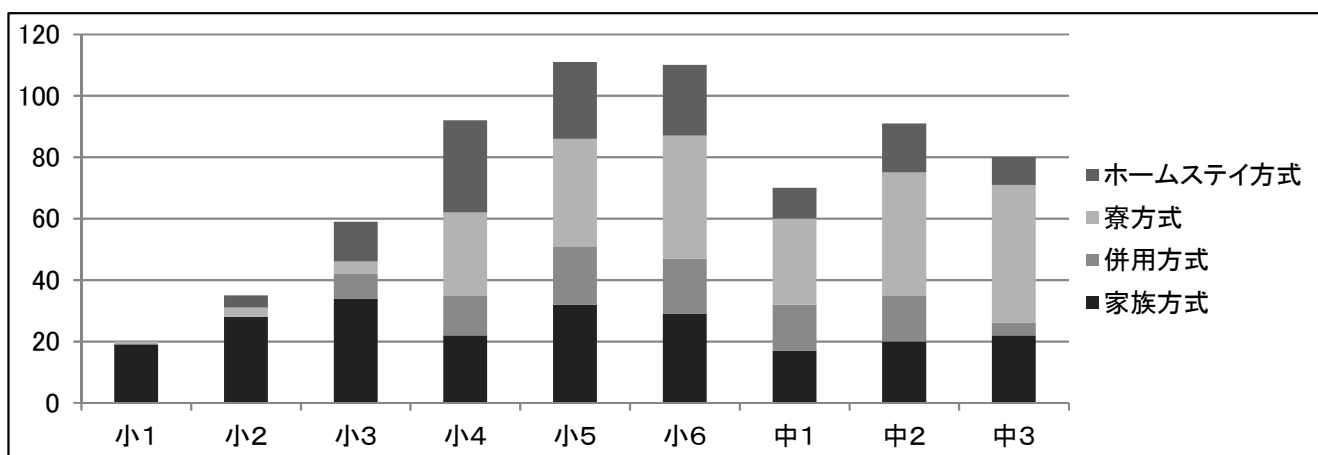
学年別では、小学生が427人(約64%)、中学生が241人(約36%)となっており、中学生の割合が約5%増加しました。人数が多い学年は小5の111人、小6の110人(いずれも約16%)となっており、これは例年の傾向と変わりありません。

また、親元を離れる山村留学の場合、ある程度 of 生活面での自立が求められ、小3以上を受け入れ対象にしている地域が多いため、小3から徐々に増加しています。

一方で家族方式のみを見た場合は、家族同伴であることから小3以下の参加者が81人(約36%)となっており、逆に中学生は59人(約26%)と少なくなっています。

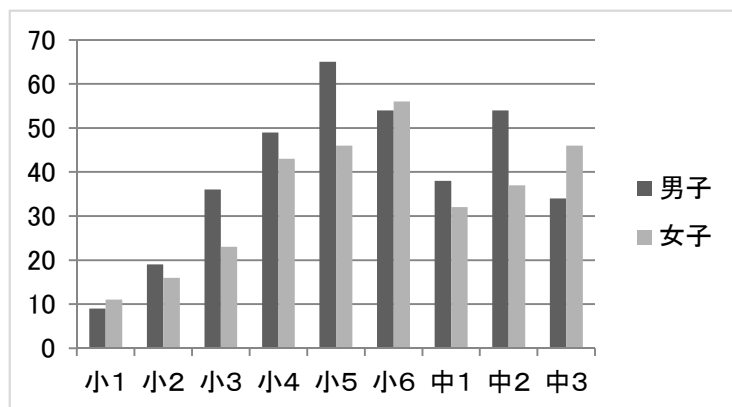
▽居住形態別の学年別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
ホームステイ方式	0	4	13	30	25	23	10	16	9	130
寮方式	1	3	4	27	35	40	28	40	45	223
併用方式	0	0	8	13	19	18	15	15	4	92
家族方式	19	28	34	22	32	29	17	20	22	223
合計	20	35	59	92	111	110	70	91	80	668



▽学年別の男女別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
男子	9	19	36	49	65	54	38	54	34	358
女子	11	16	23	43	46	56	32	37	46	310
合計	20	35	59	92	111	110	70	91	80	668



全体では男子が358人(約54%)、女子が310人(約46%)となり、男女比はここ数年の傾向とあまり変わりありません。

ただ、個別の増減をみてみると、男子が昨年比7人増だったのに対して、女子は33人増と約5倍の伸びがあります。

また、女子の増減を小中別にみると、小学生が3人減だった一方、中学生は36人増と大幅に伸びました。

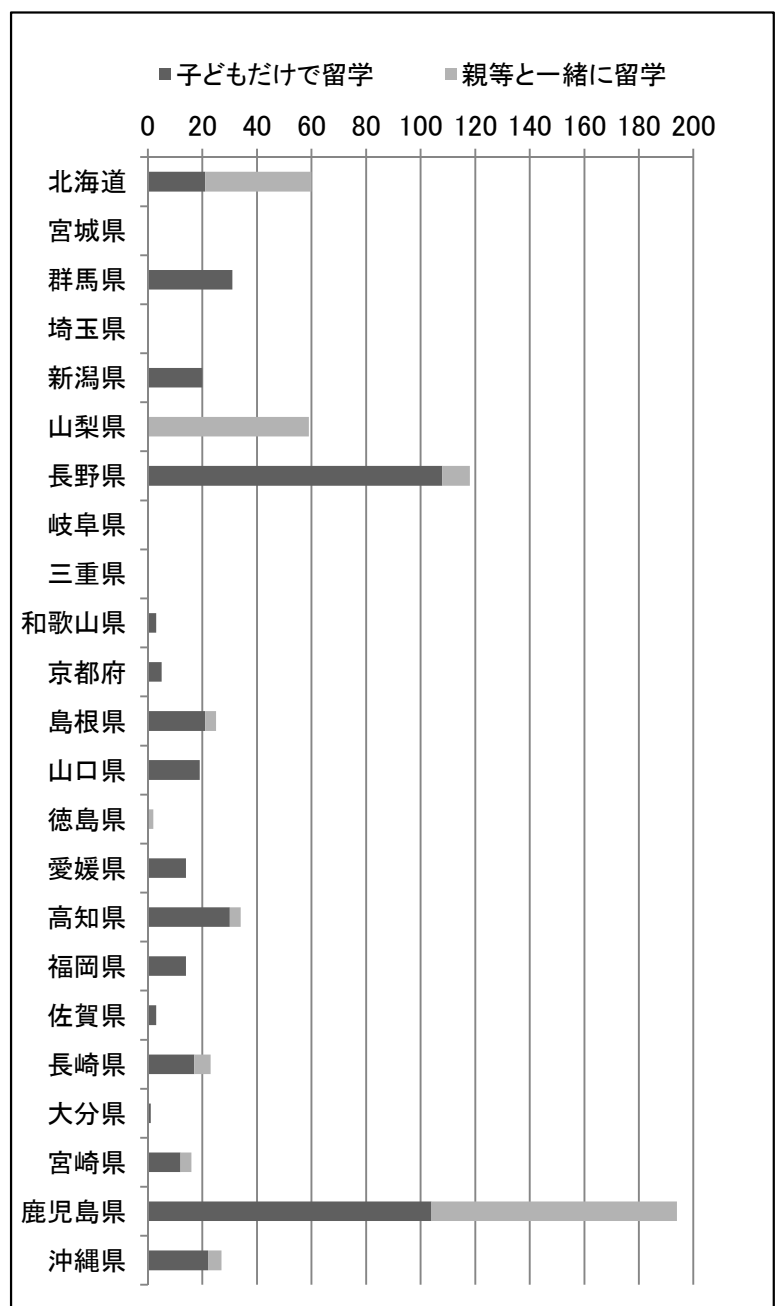
都道府県別の山村留学受け入れ人数

- 2020年度の山村留学参加者数は668人で、うち子どもだけで留学した参加者数は445人(約67%)、親等と一緒に留学した参加者数は223人(約33%)です。
- 受け入れ人数が多い都道府県は、鹿児島県(194人、29人増)、長野県(118人、12人減)、北海道(60人、1人減)、山梨県(59人、19人増)です。
- 子どもだけで留学した参加者数が多いのは、長野県(108人、増減なし)、鹿児島県(104人、2人増)のほか、群馬県や高知県、北海道、島根県、新潟県、沖縄県などが多くなっています。
- 親等と一緒に留学した参加者数が多いのは、鹿児島県(90人、27人増)、山梨県(59人、19人増)、北海道(39人、3人減)などで、三県で約84%を占めています。

※人数比較は前年度と比べた数字

▽都道府県別の留学生受け入れ人数

	子どもだけで留学	親等と一緒に留学	合計
北海道	21	39	60
宮城県	0	0	0
群馬県	31	0	31
埼玉県	0	0	0
新潟県	20	0	20
山梨県	0	59	59
長野県	108	10	118
岐阜県	0	0	0
三重県	0	0	0
和歌山県	3	0	3
京都府	5	0	5
島根県	21	4	25
山口県	19	0	19
徳島県	0	2	2
愛媛県	14	0	14
高知県	30	4	34
福岡県	14	0	14
佐賀県	3	0	3
長崎県	17	6	23
大分県	1	0	1
宮崎県	12	4	16
鹿児島県	104	90	194
沖縄県	22	5	27
合計	445	223	668



45年間の山村留学参加者数の推移

1976年度(昭和51)に長野県八坂村(現大町市)で日本初の山村留学が実施されて以後、45年間の参加者数の推移です。一時は900人に迫った参加者数も、自治体合併やホームステイ先の高齢化、地元児童生徒数の減少、学校統廃合等により減少に転じました。しかしながら、ここ数年は増加傾向に転じ、2020年度は668人と、ほぼ2007年度の水準まで戻りつつあります。

ピーク時に比べて受け入れ校は減少していますが、新設されたり、実績ある地域に安定的に留学生が集まっていること、そして家族方式の導入による定住促進や寮方式による大規模受け入れ等が増加傾向に繋がったと考えられます。

▽山村留学参加者数の推移

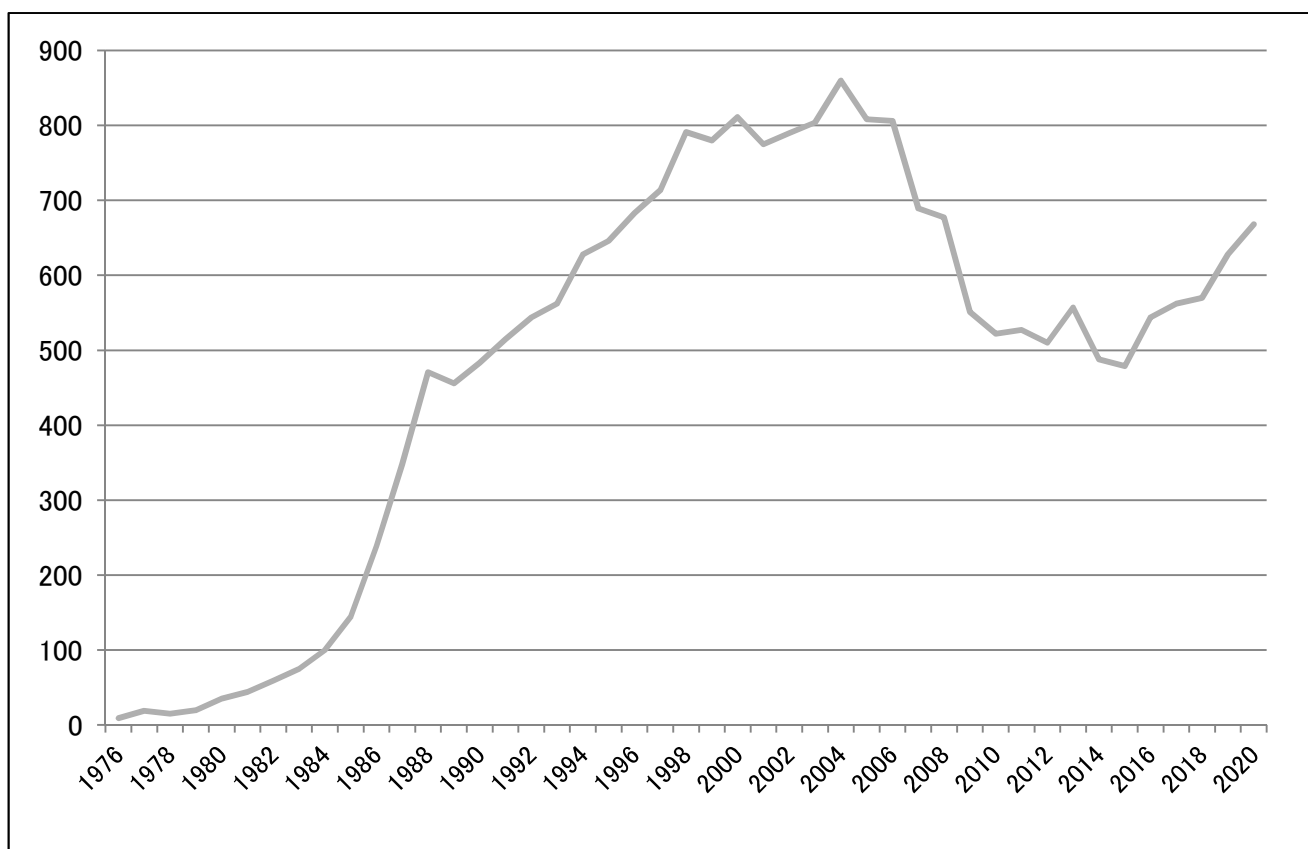
年度	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
参加者数	9	19	15	20	35	44	59	75	100	144

年度	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
参加者数	239	348	471	456	483	515	544	562	628	646

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
参加者数	683	714	791	780	811	775	790	804	860	808

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
参加者数	806	689	677	551	522	527	510	557	488	479

年度	2016	2017	2018	2019	2020
参加者数	544	562	570	628	668



45年間の山村留学実施校の推移

山村留学実施校は1985年度頃から増加し、2003年度にピークをむかえましたが、同時に、開設しても留学生在が確保できない受け入れなし校も一定水準みられるようになってきました。

また、2005年度頃には、学校統廃合や自治体合併等の影響により制度を中止する学校が多くなり、その後も減少傾向となっていました。2016年度頃から新たに参入するケースもみられ、ここ数年はゆるやかな微増傾向にあります。

▽受け入れ校数と受け入れなし校数の推移

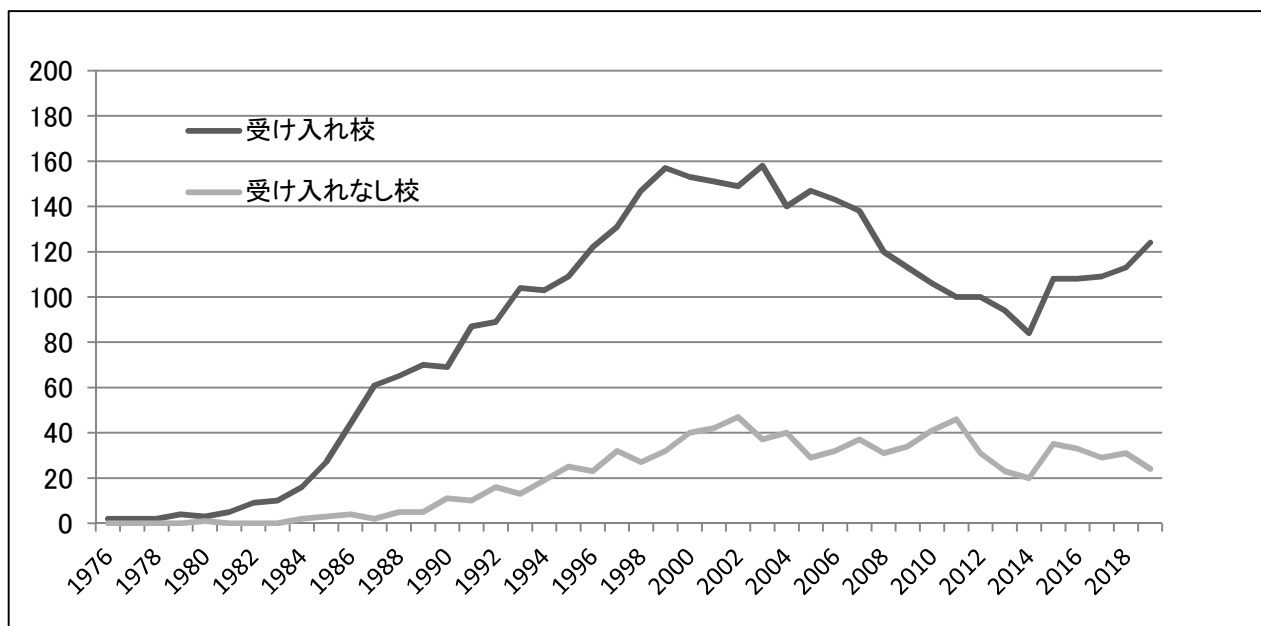
年度	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
受け入れ校	2	2	2	2	4	3	5	9	10	16
受け入れなし校	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	2	2	2	2	4	4	5	9	10	18

年度	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
受け入れ校	27	44	61	65	70	69	87	89	104	103
受け入れなし校	3	4	2	5	5	11	10	16	13	19
合計	30	48	63	70	75	80	97	105	117	122

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
受け入れ校	109	122	131	147	157	153	151	149	158	140
受け入れなし校	25	23	32	27	32	40	42	47	37	40
合計	134	145	163	174	189	193	193	196	195	180

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
受け入れ校	147	143	138	120	113	106	100	100	94	84
受け入れなし校	29	32	37	31	34	41	46	31	23	20
合計	176	175	175	151	147	147	146	131	117	104

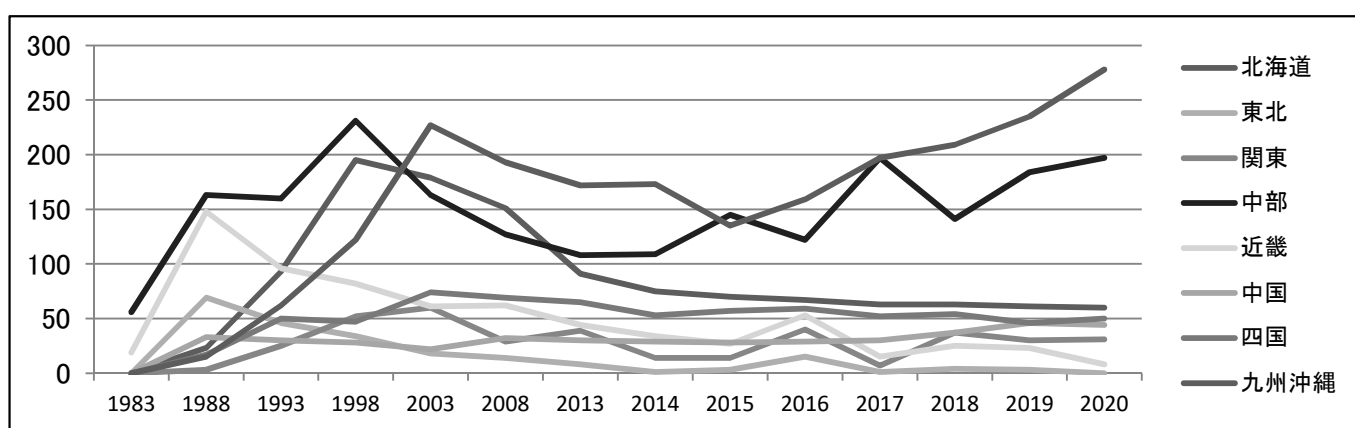
年度	2016	2017	2018	2019	2020
受け入れ校	108	108	109	113	124
受け入れなし校	35	33	29	31	24
合計	143	141	138	144	148



45年間の参加者数の推移(受け入れ地域別・居住形態別)

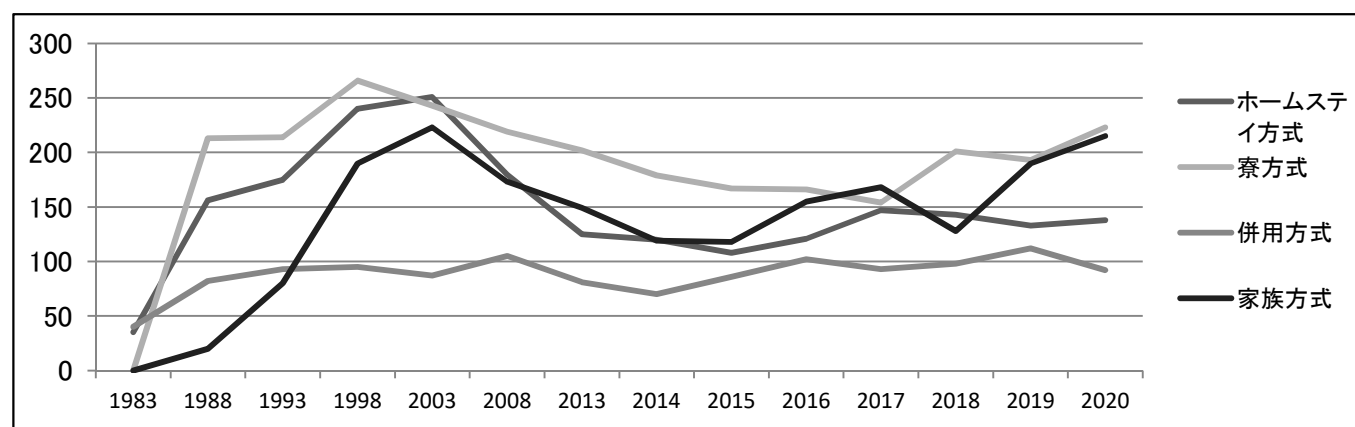
▽受け入れ地域別に見た参加者数の推移

	1983	1988	1993	1998	2003	2008	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
北海道	0	23	93	195	179	151	91	75	70	67	63	63	61	60
東北	0	69	46	34	18	14	8	1	3	15	1	4	3	0
関東	0	3	25	52	60	29	39	14	14	40	7	37	30	31
中部	56	163	160	231	163	127	108	109	145	122	197	141	184	197
近畿	19	148	96	82	61	62	44	34	27	53	15	25	23	8
中国	0	33	30	28	22	32	30	29	28	29	30	37	46	44
四国	0	17	50	47	74	69	65	53	57	59	52	54	46	50
九州沖縄	0	15	62	122	227	193	172	173	135	159	197	209	235	278
合計	75	471	562	791	804	677	557	488	479	544	562	570	628	668



▽居住形態別に見た参加者数の推移

	1983	1988	1993	1998	2003	2008	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ホームステイ方式	35	156	175	240	251	180	125	120	108	121	147	143	133	138
寮方式	0	213	214	266	243	219	202	179	167	166	154	201	193	223
併用方式	40	82	93	95	87	105	81	70	86	102	93	98	112	92
家族方式	0	20	80	190	223	173	149	119	118	155	168	128	190	215
合計	75	471	562	791	804	677	557	488	479	544	562	570	628	668



2020年度版 全国の山村留学実態調査報告書

2021年3月

編集発行：NPO法人全国山村留学協会

〒180-0006

東京都武蔵野市中町1-6-7-5F tel:0422-56-0595 fax:0422-56-0351

info@sanryukyo.net

<http://www.sanryukyo.net>